

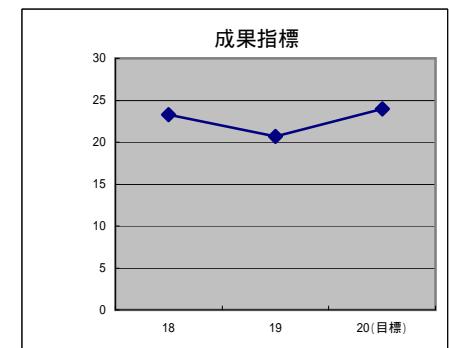
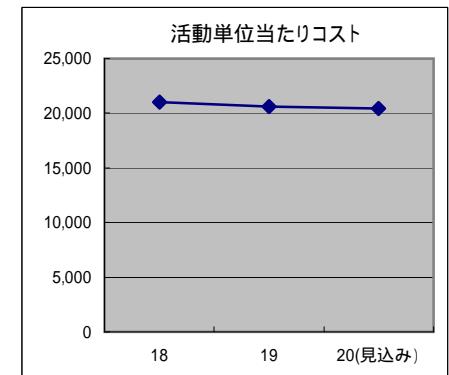
平成 20 年度 事務事業評価シート(平成 19 年度実施事業)

整理番号 保福総02

事務事業名	民生委員協議会助成事業			予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち		款	3	民生費
施策(節)	2	地域福祉	項		1	社会福祉費	
施策の方向	(1)市民による地域福祉活動の促進		目		2	社会福祉事業費	
関連する計画等	羽曳野市地域福祉計画、羽曳野市民福祉活動計画				事業	5	社会福祉対策
事業の目的	対象(誰を・何を) 羽曳野市民生委員児童委員協議会						
意図(どういう状態にしたいのか)							
運営及び活動の活性化を図る。							
事業の内容	羽曳野市民生委員児童委員協議会の運営にかかる事業費を助成(民生委員児童委員1名あたり1万円助成) 民生委員児童委員数181名 市は事務局として、定例会の開催・府補助金等の庶務・民生委員児童委員の推薦に関わる庶務等を担当している。						
根拠法令等	民生委員法、羽曳野市民生委員児童委員協議会助成金交付要綱						
事業開始時期	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 元年 月開始			<input type="checkbox"/> 明確にはわからない		終了年度	平成 年度
事業開始時からの状況変化	平成15年度に大幅減額をしている。						
市民や議会の要望	団体からは、補助金の継続を求める意見が出ている。						
実施手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()						
委託先	<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称		委託内容			
区分		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)			

事業費【1】	(千円)	1,680	1,700	1,810
人件費【2】	(千円)	1,848	1,848	1,932
職員数	正規職員	0.22 人	0.22 人	0.23 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考)	(時間)	0.00 時間	0.00 時間
	総事業費(【1】+【2】)【A】(千円)	3,528	3,548	3,742
財源内訳	国費	(千円)		
	府費	(千円)	168	170
	市債	(千円)		
	その他(手数料・使用料等)	(千円)		
	一般財源	(千円)	3,360	3,378
	活動指標(事業の活動実績)【B】	単位	18年度	19年度
	民生委員児童委員数	人	168	172
	民生委員総活動日数	日	25,907	26,214
	活動単位当たりコスト(【A】/【B】)	円	21,000 円	20,628 円
	市民1人当たりコスト(【A】/人口)	円	29 円	30 円

成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名	指標設定の考え方	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
			目標	実績	目標	実績	達成率(%)	
	民生委員一人当相談支援件数(件) (式) 総相談件数 ÷ 民生委員数	相談件数は市民の信頼を得ていることのひとつの数値。	23.0	24.0	24.0	20.7	86.3%	24.0
	民生委員一人当活動日数(日) (式) 総活動日数 ÷ 民生委員数	日頃の活動が、市民からの信頼を得ることにつながる。	155.0	154.2	155.0	149.0	96.1%	155.0



市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	民生委員児童委員の活動を支える協議会の運営には、助成は不可欠である。	

分析・評価	視点	分析のためのチェック点			はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明			
		市民ニーズが高い	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	社会情勢の変化に対応している				地域福祉の活性化のためには、民生委員児童委員の働きが重要であり、その基盤となる民生委員児童委員協議会の活性化は不可欠。運営のための助成金がなければ、協議会の存続にかかわる事態となる。			
妥当性	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	緊急性が認められる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				効率よく運営されている。			
	受益者負担の割合は適当である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>							
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
効率性	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	市との他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
有効性	成果を向上させる余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				民生委員児童委員の福祉サービスに占める重要性は高まっている。			
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	事業の企画、立案に市民が参加している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
協働性	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				事務局は行政だが、運営は民生委員児童委員が行っており、協働性は高い。			
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
達成度	成果指標は前年度より向上している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				指標数値は上がっていないが、民生委員児童委員定数の増に伴うものである。			

担当部局評価	総合評価
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了
	評価の理由
	地域福祉推進に厚生労働大臣の委嘱を受ける民生委員・主任児童委員の果たす役割は大きい。
今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
福祉が複雑多様化する中で必要な組織であり、住民と行政の「つなぎ」役としての活動が期待され、民生委員協議会への助成を継続していく。	